

災害に関する基礎講座⑤

暖かくなったら…

雪解けによる「地すべり」「がけ崩れ」に注意！



各地で大雪となった今季、大蔵村肘折では全国一の積雪量445センチ(※)を記録し、西川町大井沢や志津でも、例年を超える積雪となりました。気温が上昇すると雪解けが進み、特に積雪が多かった地域では雪崩や落雪などが発生しやすい状況となります。それ以外にも、雪解けが一気に進むと大雨が降った時と同じような状況となるため、「地すべり」や「がけ崩れ」に対する注意が必要です。

※…平成30年2月13日気象庁アメダス観測値。観測史上4位を記録した。



ここがポイント！

- ◎暖かくなり雪が解けると、**雪解け水が地中に染みこみ、その水の量が多いと土が流れ出し、地すべりやがけ崩れを引き起こす危険がある。**
- ◎雪解け水による地すべりやがけ崩れは、**雨が降っていないでも起こる可能性が高い。**
- ◎大雨の場合は、注意報や警報などで事前に避難の心構えができるが、雪解けによる地すべりやがけ崩れは**予想がしにくい。**



事前にできることは？

①危険な場所を知っておく



《土砂災害ハザードマップ》を確認

土砂災害ハザードマップで、地すべりやがけ崩れの危険性が高い箇所を事前に調べておきましょう。住んでいるところがその箇所に含まれている場合は、特に注意が必要です。

②いつでも避難できるように備えておく



避難場所・避難経路・非常時の持ち出し品を確認

避難場所と安全な避難経路を事前に確認し、連絡の方法などについても、普段から家族で話し合っておきましょう。また、いつでも避難できるよう、非常時の持ち出し品を普段から用意しておきましょう。

③前兆現象に注意する



地すべり・がけ崩れ・雪崩の前兆現象を調べる

前兆現象に気づいたら、周囲の人にも知らせ、直ちに区長・役場などに連絡しましょう。

「自分の命は自分で守る」という考えを常に持ち、安全なところに早めに避難することが大切です。

調べよう！



◆西川町の土砂災害ハザードマップは

西川町 ハザードマップ



◆地すべり・がけ崩れの前兆現象は

新庄河川 土砂災害防止のために



◆雪崩の前兆現象については

寒河江川さぼう 雪崩

